

2.1

Excel で図形を描く

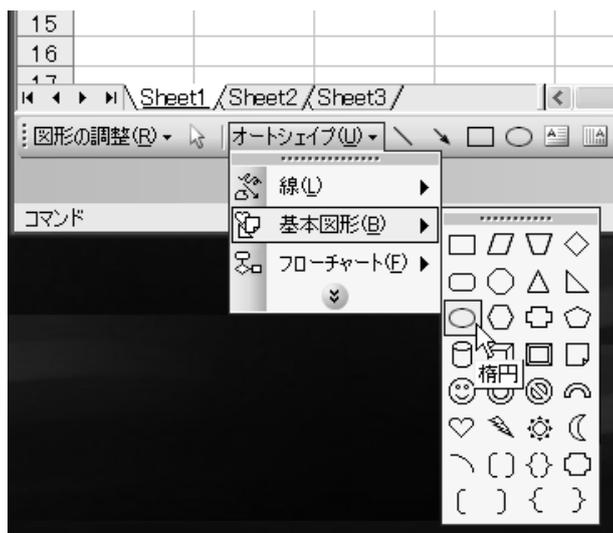
(1) **図を描く必要性** 本書では、Microsoft Excel の VBA (Visual Basic for Application) を使った FEM の実現方法について説明していますが、FEM に必要な節点データと要素データ、計算結果は数字の羅列になっています。しかし、数字の羅列よりも、やはり視覚的に図形が表示されるほうが親しみやすく、理解もしやすいと思います。そこで、まずは、Excel シート上で手操作による図形の描き方、その延長としての VBA による図形表示について示します。

(2) **最も単純な図形** Excel で図形を描くには、以下の 2 通りがあります。

- ① シートに値を設定してグラフ機能を利用する方法
- ② オートシェイプを使って直接描く方法

ここでは、オートシェイプで直接描く方法を説明します。

【Excel 2003 の場合】 まず、以下のように「オートシェイプ(U)」から描きたい図形を選択します。

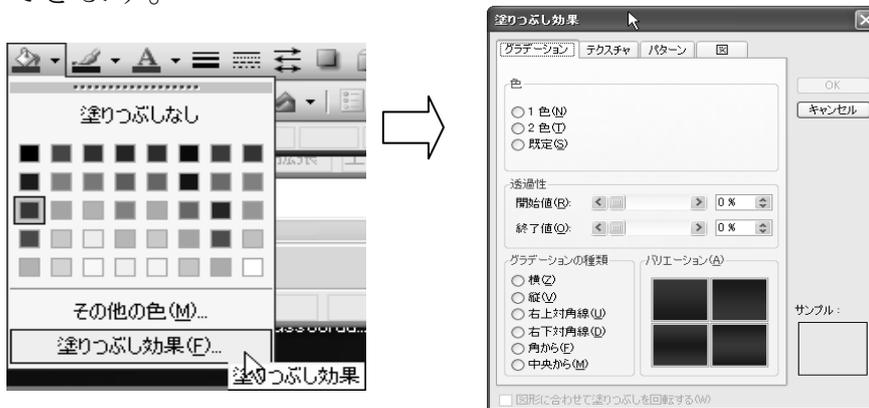


配置したい箇所で左ボタンを押し、押したまま移動(ドラッグ)し、左ボタンを離すことで図形を描くことができます。

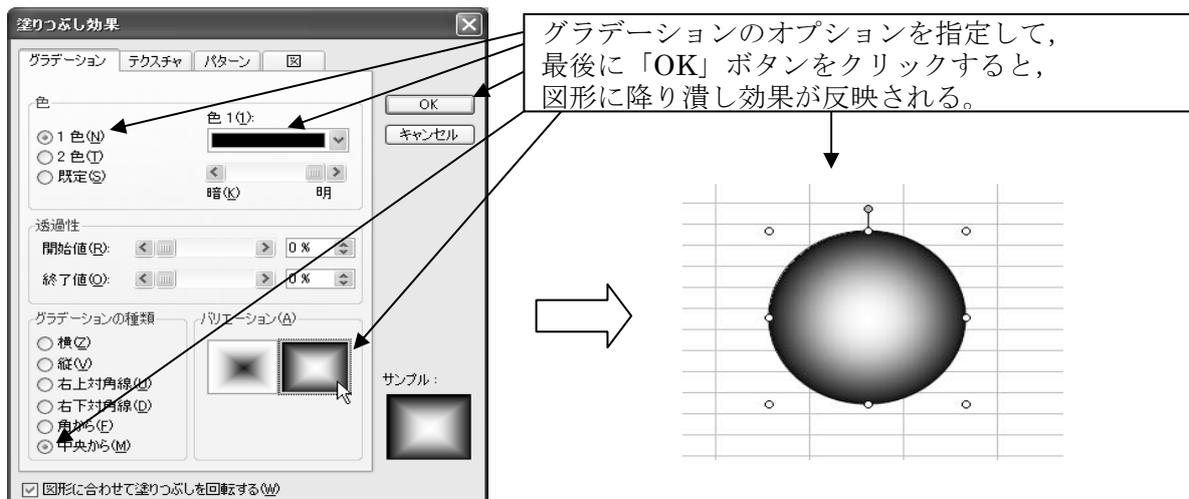
(4) 塗り潰し効果

【Excel 2003 の場合】(Excel 2007 以降の場合, (3) 参照)

- ① オートシェイプでは, 色傾斜(グラデーション), 模様(テクスチャ), パターン, 塗り潰し画像の指定(図)など, 塗り潰し効果を指定することができます。



- ② ここでは, ボールのような塗り潰し効果をねらって, 以下のように指定します。



- ③ 線の種類, 太さ, 色等も以下のアイコンで変更できます。色々, 試してみましょう。

